

平成21年9月期 第1四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 アドバンスクリエイト 普通株式
 コード番号 8798 URL <http://advancecreate.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 村上 浩一
 四半期報告書提出予定日 平成20年2月13日 配当支払開始予定日 平成20年3月19日

上場取引所 大

TEL 06-6204-1193

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第1四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第1四半期	1,574	—	129	—	68	—	78	—
20年9月期第1四半期	1,474	△38.0	△213	—	△253	—	△585	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第1四半期	731.27	730.34
20年9月期第1四半期	△5,072.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年9月期第1四半期	7,347	—	3,914	—	44.1	30,356.65
20年9月期	7,454	—	4,390	—	49.0	31,648.78

(参考) 自己資本 21年9月期第1四半期 3,239百万円 20年9月期 3,651百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期	1,500.00	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	—	—	1,500.00	3,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年9月期第1四半期の配当原資は、資本剰余金であります。詳細は、2ページ「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,600	0.9	220	△6.0	140	22.7	100	—	937.18
通期	7,800	16.6	750	510.6	550	—	400	—	3,478.72

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 Advance Create Reinsurance Incorporated) 除外 1社(社名 株式会社アドバンスライフパートナーズ)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月期第1四半期 112,391株 20年9月期 115,391株
 ② 期末自己株式数 21年9月期第1四半期 5,688株 20年9月期 8,688株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年9月期第1四半期 106,703株 20年9月期第1四半期 115,391株

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

平成 21 年 9 月期第 1 四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする内訳は以下の通りであります。

基準日	第 1 四半期末
1 株当たり配当金	1,500 円
配当金総額	160 百万円

(注)純資産減少割合 0.047

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題を発端とした米国を中心とする世界的な金融市場の混乱とそれに伴う世界経済の大幅な減退が顕在化し、株価下落・企業業績悪化が見られ、景気は後退の局面となりました。個人におきましても雇用不安の増大から消費低迷へとつながり、今後の日本経済全体の先行きに不透明感が広がっております。

このような状況の中、当社グループは「お客様が最適・快適な購買環境で、簡単便利に保険を購入いただく」ことを目標と掲げ、日本最大級の保険比較サイト「保険市場（ほけんいちば）」を中心に、検索エンジンや大手ポータルサイトから個人のブログまで、1万を超えるネット上の様々なサイトに露出することで、不況下だからこそより多くのお客様に「生活防衛」として保険見直しサービスをご提供してまいりました。また、当社のリアル店舗である「保険市場」と情報共有を図ることで、より深く知識を得たい・相談したいと考えるお客様には店舗をご案内し、通信販売をご希望のお客様にはコールセンターを、また簡略化をご希望のお客様にはネット完結型商品をと、ますます多様化するお客様のあらゆる要望にお応えできる、お客様本位の取り組みをしてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間における新規の保険契約件数は54千件、当第1四半期連結会計期間末の保有契約件数につきましても285千件となりました。

また、売上高は1,574百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は129百万円（前年同期は213百万円の営業損失）、経常利益は68百万円（前年同期は253百万円の経常損失）、四半期純利益は78百万円（前年同期は585百万円の四半期純損失）となり、Webサイトにおける効果的なプロモーション活動の確立と更なる試行錯誤、それらを当社の持つ様々な販売チャネルと結びつける「Web to Real」の手法が、景況観の中で「より安く、より良い保障」を求めお客様とのニーズとマッチし、創業以来初の第1四半期からの黒字とすることができました。

事業の種類別のセグメントの業績は次の通りであります。

保険代理店事業におきましては、上述の展開により営業収益は1,521百万円、営業利益は124百万円となりました。

広告代理店事業におきましても、上記「保険市場」で培ったWebマーケティング手法をベースとし、従来からのポスティングを中心とした「紙」の広告提案から、インターネット広告代理店への転換が実を結びつつあり、売上高は38百万円、営業利益は1百万円となりました。

損害保険事業におきましては、自動車保険業界が不振の中、Web系損保としてのシェア拡大を目指して取り組み、売上高は13百万円、営業利益は△1百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は106百万円減少し7,347百万円、負債は370百万円増加の3,433百万円、純資産は475百万円減少の3,914百万円となりました。

資産の減少の主な要因は、売掛金の減少342百万円であります。負債の増加の主な要因は、短期借入金の増加129百万円であります。また純資産の増加の主な要因は自己株式の減少149百万円であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ344百万円増加し、1,496百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュフローの状況は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間においては、税金等調整前四半期純利益59百万円、売上債権の減少349百万円等により、営業活動により獲得した資金は501百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、定期預金の預入による支出95百万円、無形固定資産の取得による支出111百万円等があり、270百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における財務活動の結果、短期借入金による収入350百万円、短期借入金の返済による支出221百万円等により、113百万円の資金を獲得いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、今後の当社グループの事業環境及び第2四半期連結会計期間の進捗状況を見極める必要があるため、前回予想（平成20年11月14日公表）を修正いたしません。見直しが必要であると判断した時点で速やかに開示いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成20年11月28日に、株式会社アドバンスライフパートナーズは清算手続きが完了、解散したため、連結の範囲から除外しています。

平成20年11月5日に、Advance Create Reinsurance Incorporatedは米国ハワイ州において新たに出資設立をして子会社になったことから連結の範囲に含めています。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間消却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,621,876	1,382,512
受取手形及び売掛金	981,317	1,323,414
繰延税金資産	152,548	109,537
その他	297,279	368,987
貸倒引当金	△604	△583
流動資産合計	3,052,417	3,183,869
固定資産		
有形固定資産	174,835	179,726
無形固定資産		
のれん	230,730	234,087
広告実施権等	253,492	262,855
ソフトウェア	439,976	409,646
その他	2,943	2,882
無形固定資産合計	927,142	909,471
投資その他の資産		
投資有価証券	317,699	112,981
保険積立金	1,276,946	1,267,632
差入保証金	401,456	414,516
その他	265,613	270,142
投資その他の資産合計	2,261,716	2,065,273
固定資産合計	3,363,694	3,154,471
繰延資産		
開業費	198,649	203,434
開発費	299,819	349,902
保険業法第113条繰延資産	411,876	285,585
その他	21,373	19,334
繰延資産合計	931,719	858,257
資産合計	7,347,831	7,196,598
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,669	18,632
短期借入金	1,842,400	1,713,400
賞与引当金	79,016	129,486
その他	639,622	660,029
流動負債合計	2,573,708	2,521,549
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	152,000	167,400
退職給付引当金	24,165	21,770
その他	83,654	27,363
固定負債合計	859,819	816,533
負債合計	3,433,528	3,338,082

